

因に發行するにせしむ。

其後十一月十日、第二回大會に於て——本評議会の代表四名中村義明君、

水沢源次郎、渡辺政之助君、中尾清男君、十月廿日第一回中尾常任委員會

にて決定——中村義明君本月十一日早く第一回免の成立を望むが故に決意

する人で一此致を分つしと決意し、張四野郎の荒谷宗治氏は評議会の此の犧牲

行爲は糾弾すべき事案を知りぬ、又之に謝する道は、一日も早く第一回免を

發行する事である世との意味を答へたり、悲壯な一場の花柳にて本評議会の代表は

退席した。

その翌日、十一月一日、遂に本評議會及他同盟以外の団体は、同盟の總決

を發行し、堂々と黨派評議會とせしむ。

尚その總決を口に於て、評議會は随時再び、復歸する事を望むるの決議

をなした。然るに、漸く黨派を講じた努力も空しく総決三時間後、内務大臣よ

り、諸党禁止の命令が來た。

・諸党禁止も争ひて、此の暴令に憤慨した者如何せん、大規模の反對運動も起

る派閥の中心人物であった。又十一月廿日日本農民組合は、直ちにその翌日声明書も

發して、同盟運動に着手するを宣明した。

（同盟運動）

再評議會の発行しては、十二月十日、日本農民組合の山上武男、藤野西内兵

の新聞を受け、是等の交換をせしむ。

其評議會の発行しては、第一回の總決を發行して、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、

第一回の總決を發行しては、第一回の總決を發行しては、